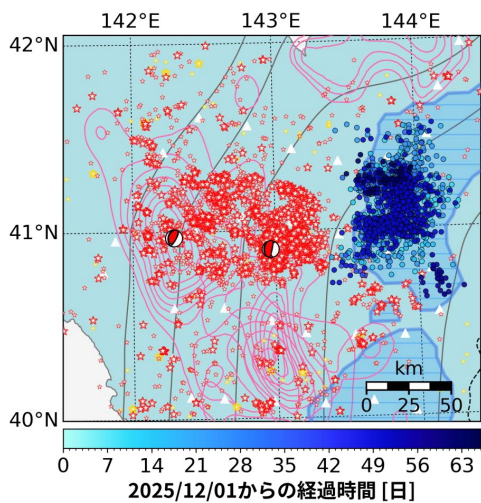
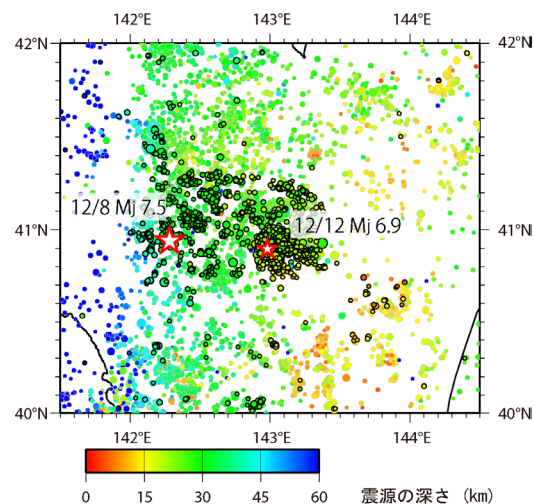
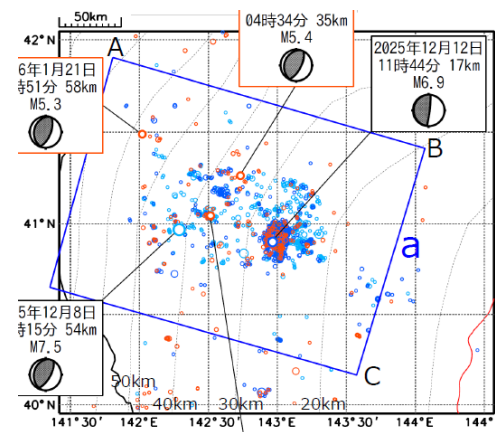




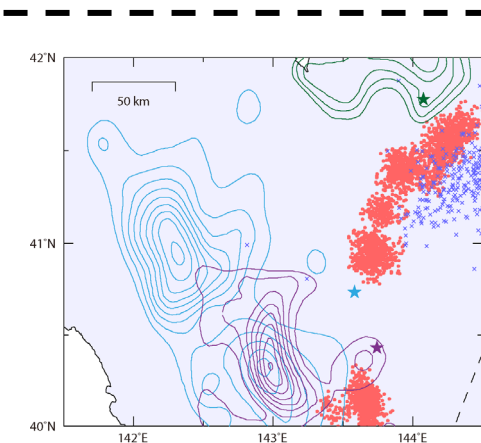
産業技術総合研究所
（赤：地震、青：微動）
（2025年12月 1 日～2026年 2 月 4 日）



防災科学技術研究所
（地震）
（2026年12月 1 日～2026年 1 月 27 日）

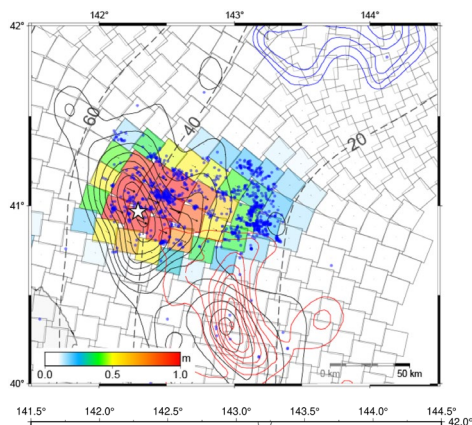


気象庁
（地震）
（2025年12月 8 日20時00分～2026年 1 月31日24時00分、深さ 0 ～80 km、M2.0 以上）

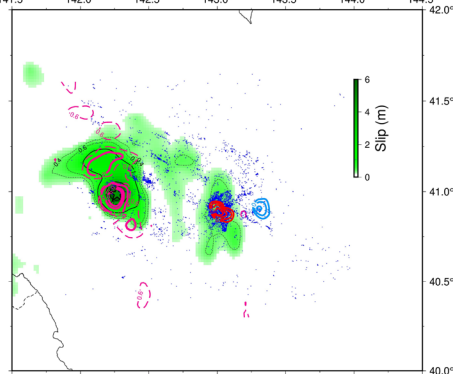


防災科学技術研究所
（赤：微動、青：超低周波地震）
（2017年 1 月～2018年 9 月、Tanaka et al., 2019）

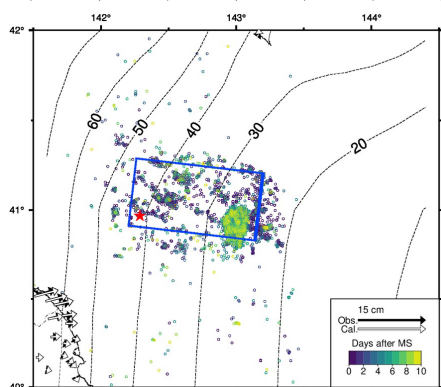
青森県東方沖の地震（地震時すべり分布）



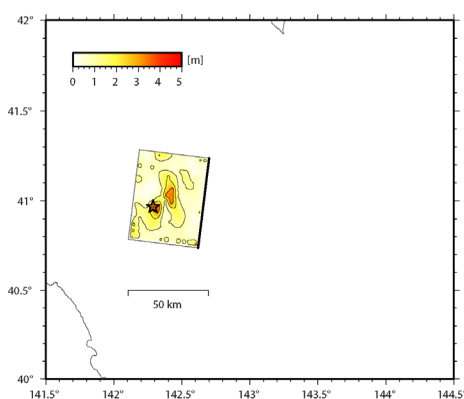
国土地理院（GNSS）
96 km × 136 km



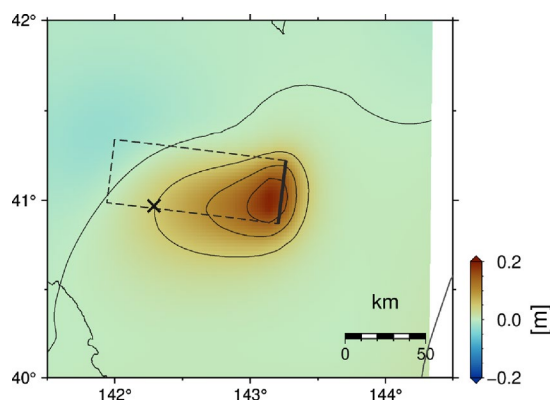
東北大学（緑：遠地波形）
70 km × 142 km
（ピンク：近地波形）
110 km × 156 km



東北大学（GEONET、ソフトバンク観測点）
33 km × 67 km

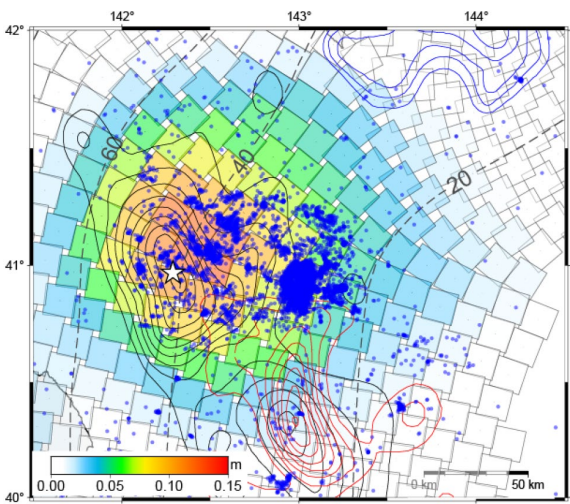


防災科学技術研究所（近地波形）
（56 km × 48 km）



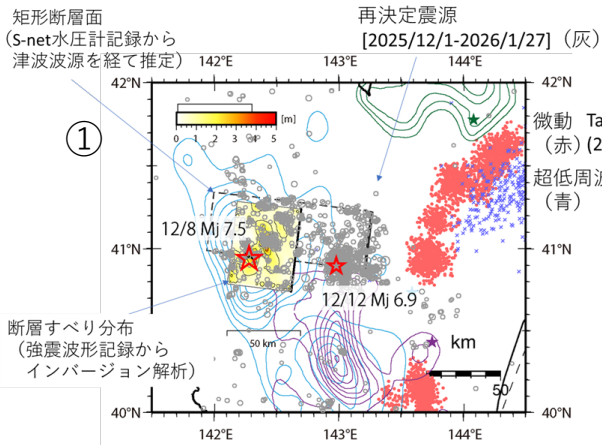
防災科学技術研究所（津波波源分布）
39.5 km × 115.5 km

青森県東方沖の地震（余効すべり分布）



国土地理院（GNSS）

青森県東方沖の地震（震央分布、すべり分布）



①防災科学技術研究所

②産業技術総合研究所

(赤：地震、青：微動)

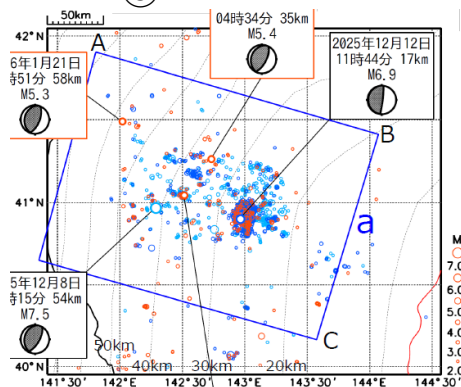
(2025年12月1日～2026年2月4日)

③気象庁

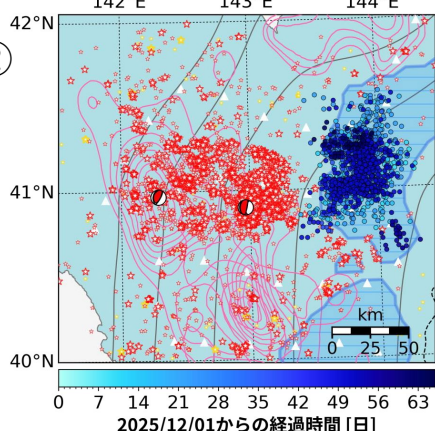
(地震)

(2025年12月8日20時00分～2026年1月31日24時00分、深さ0～80 km、M2.0以上)

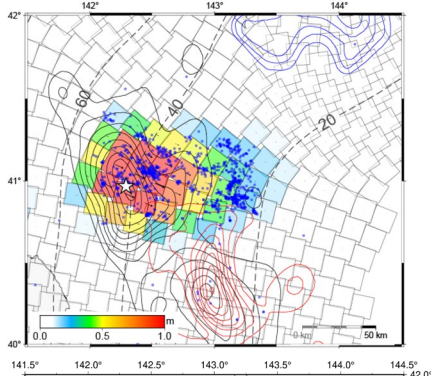
③



②



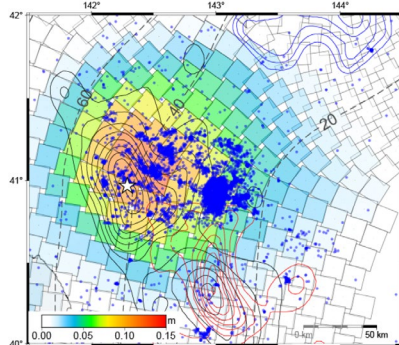
④



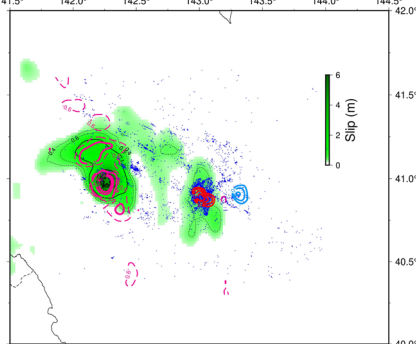
④国土地理院 (GNSS)

左：地震時すべり分布

右：余効すべり分布



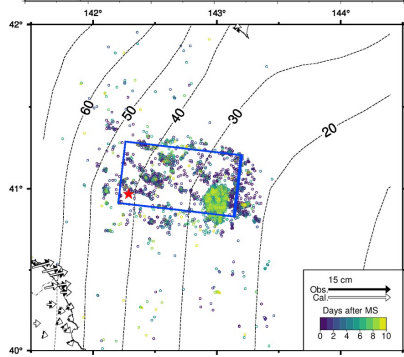
⑤



⑤東北大学 (緑：遠地波形)

(ピンク：近地波形)

⑥



⑥東北大学 (GEONET、ソフトバンク観測点)

島根県東部の地震（長期評価）

中国地域の活断層の長期評価（第一版）

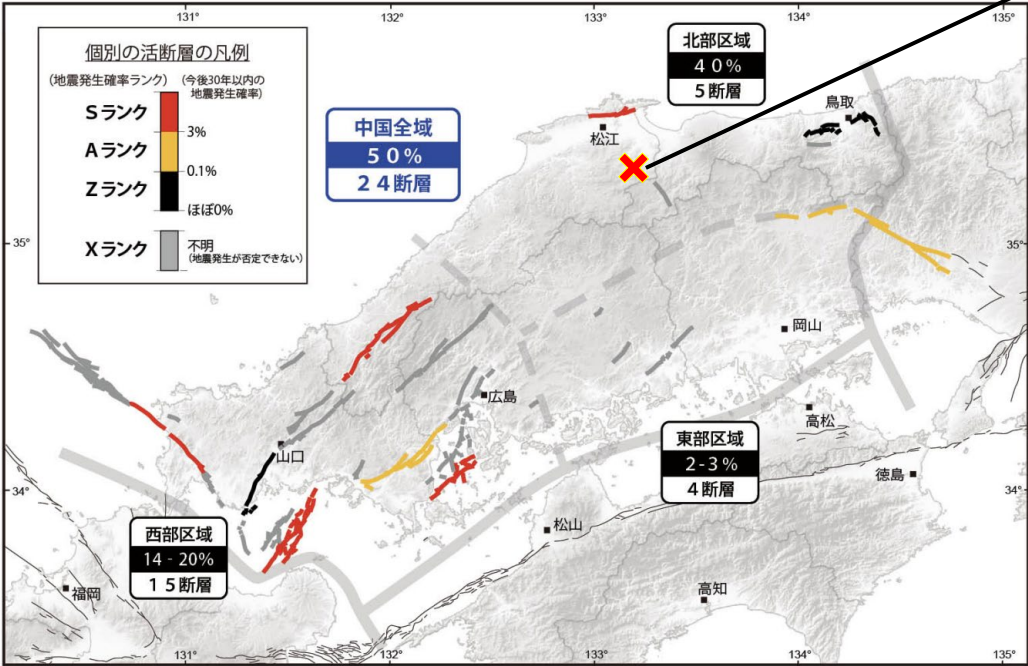
https://www.jishin.go.jp/main/chousa/16jul_chi_chugoku/chugoku_gaiyo.pdf より抜粋、一部加筆

中国地域の活断層で発生する地震の長期評価

地域内でM6.8以上の地震が30年以内に発生する確率

- 北部区域・・・活断層は少ないが、地震活動は比較的活発
- 東部区域・・・活断層も少なく、地震活動も低調
- 西部区域・・・活断層が相対的に多く、活動性も概して高い

2026/1/6 M6.4



※黒細線は評価対象外の活断層

4. 活断層で発生する地震の規模・確率

区域	M6.8以上の地震が 30年以内に 発生する確率※		活断層	区域内の最大の 地震の規模 (マグニチュード)
	各区域	中国全域		
北部	40%		鹿野-吉岡断層 ほか4断層	M7.2程度
東部	2-3%	50%	山崎断層帯 ほか3断層	M7.7程度
西部	14-20%		菊川断層帯 ほか14断層	M7.8-8.2程度 もしくはそれ以上

※ これらの確率は、区域内の最大規模の地震が発生する確率を表すものではない

https://www.jishin.go.jp/main/chousa/16jul_chi_chugoku/chugoku_point.pdf より抜粋、一部加筆

島根県東部の地震（続発事例）

気象庁の報道発表資料

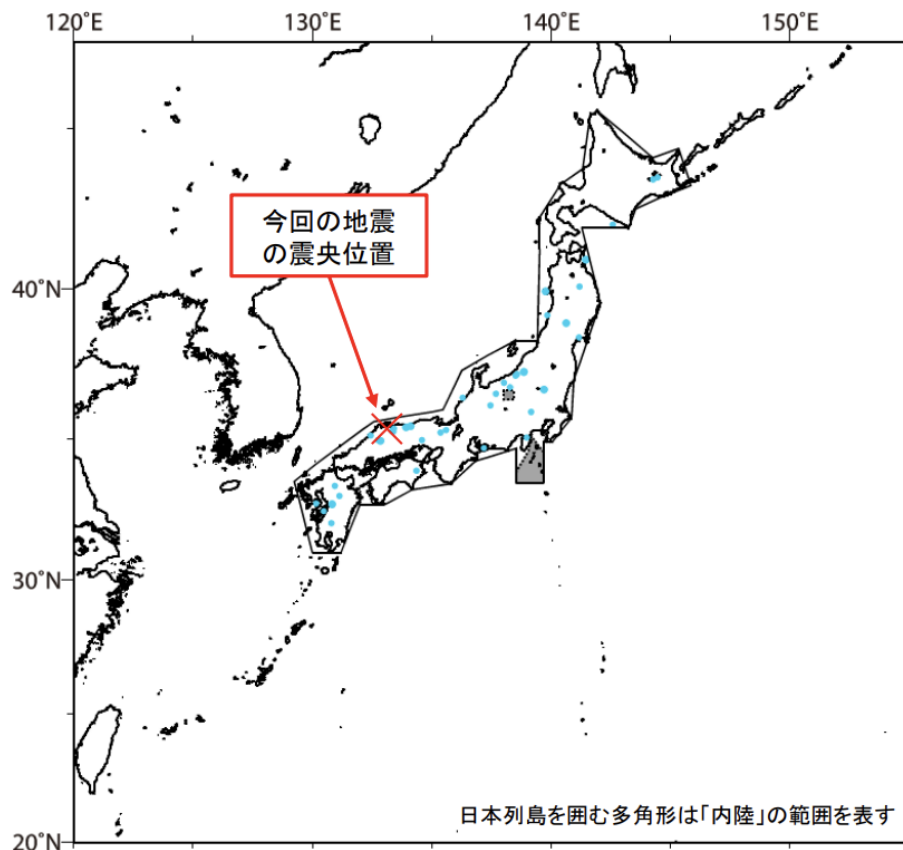
<https://www.jma.go.jp/jma/press/2601/06a/kaisetsu202601061125.pdf> より抜粋

震源周辺における規模の近い地震の続発事例について

（参考資料）

大きな地震発生後に規模の近い地震が続発した過去の事例 （内陸地殻内）

1923年～2016年6月、内陸で発生した深さ0～30km、マグニチュード5.0以上、規模の差が0.5以内もしくは同規模以上の地震が発生した地震を●で表示



日本列島を囲む多角形は「内陸」の範囲を表す

規模が近い地震が続発した過去の事例は、地震調査研究推進本部地震調査委員会「大地震後の地震活動の見通しに関する情報のあり方」報告書による。

■日本全国での過去の事例

内陸の浅い場所で発生した大きな地震の場合、過去には規模が近い地震が続発した事例があります（左図の●及び灰色の領域）。また、まれに、発生した大きな地震よりも、より規模の大きな地震が発生した事例もあります（563事例中、35事例で全体の6%）。

■今回の地震の周辺における過去の事例

今回の地震の周辺では、1990年に鳥取県西部で発生したM5.1の地震の1分後にM4.8の地震が、2.3日後にM5.2の地震が、10.4日後にM5.1の地震が発生した事例があります。